

トリニダード・トバゴ月間情勢報告
(2024年11月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- 国内の深刻な外貨不足を受け、国内大手銀行はクレジットカード保有者の米ドル利用限度額を大幅に減額。特に中小企業に深刻な打撃を与えている。
- エネルギー省は、英BP社とNCMA 2鉱区（浅海鉱区）の生産分与（PS）契約に調印したと発表。
- 第2回カリコム・インド首脳会合のマージンで、ブラウン外務・カリコム担当相とジャイシャンカル・インド外相は、統合型青果物自動加工システムに関する覚書に署名。

2 内政

- （14日報道）トリニダード島南部で激しい雨が降り、各地で冠水や浸水が相次いだ。
- （29日報道）俸給審議委員会（Salaries Review Commission）は、首相や野党党首、国会議員、警察長官等政治家やその他公務員の大幅な昇給を提案。

3 経済

- （2日、9日報道）クリスマスシーズンを控える中、国内の深刻な外貨不足を受け、国内大手銀行 Scotiabank 及び Royal Bank NetBank (RBC) はクレジットカード保有者の米ドル利用限度額を大幅に減額。特に中小企業に深刻な打撃を与えている。
- （4日報道）インバート財務相は、コロナ禍に輸出入銀行に設置された特別外国為替取引制度の取り扱い額を月3,000万米ドルから2,500万米ドルに減額した上で、輸入業者に対し継続して提供する方針を発表。同制度は、コロナ禍で外貨不足により、医薬品等の必需品の輸入が不足し価格が高騰するリスクを回避するために設置された。
- （10日、13日報道）国際通貨基金（IMF）は、TTの外国為替規制はIMF協定第8条に反していると述べ、同国に同規制を廃止するよう要請。複数の経済学者から、固定相場制廃止及び変動相場制導入を求める声も上がっている。
- （20日報道）エネルギー省は、英BP社とNCMA 2鉱区（浅海鉱区）の生

産分与（P S）契約に調印したと発表。

●（28日報道）ロドリゲス・ベネズエラ副大統領兼石油相は、ドラゴン・ガス油田の海底インフラ探査に用いられる探査船「Go Electra」号がベネズエラに到着したと発表。

4 外交

●（11日外務省発表）ブラウン外相は、T Tを招聘訪問中の呉偉華全国人民代表大会常務委員会副主席と二国間会談を実施。

●（20日、21日、22日報道）ガイアナで開催された第2回カリコム・インド首脳会合の-marginで、ローリー首相はモディ・インド首相と二国間会談を行い、サイバーセキュリティ対策訓練やデジタル変革、国家安全保障における二国間関係の強化に関して協議。

●（21日外務省発表）第2回カリコム・インド首脳会合の-marginで、ブラウン外務・カリコム担当相とジャイシャンカル・インド外相は、統合型青果物自動加工システムに関する覚書に署名。同覚書は、インドがT Tに最大100万米ドルの融資と技術支援を提供し、T Tの農産物加工部門における経済と雇用機会の創出を目的とする。

●（28日外務省発表）本年12月9日に任期が終了する松原大使は、ブラウン外務・カリコム担当相に対し帰朝表敬を実施。